

**令和4年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和4年12月
海老名市立有馬中学校**

令和4年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫できるかどうかをみる。
- ・論理の展開などに注意して聞くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことができるかどうかをみる。
- ・助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことができるかどうかをみる。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。
- ・自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。
- ・表現の技法について理解できているかどうかをみる。
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解できているかどうかをみる。
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができるかどうかをみる。
- ・行書の特徴を理解することができるかどうかをみる。
- ・漢字の行書の読みやすい書き方について理解できているかどうかをみる。
- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解できているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること。
- 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解すること。
- 文脈に即して漢字を正しく読むこと。
- 質問の意図を捉えること。

◆課題のある点

- 話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えること。
- 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書くこと。
- 文脈の中における語句の意味を理解すること。
- 相手や場に応じて敬語を適切に使うこと。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 話し合いを効果的に進め、互いの発言を踏まえて、考えをまとめたり広げたりする指導の工夫。
目的に沿って、互いの考えを伝え合ったり生かし合ったりする話し合いや議論、討論などの言語活動を通して指導すること。
- 読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える指導をすること。
表記や語句の用法、叙述の仕方、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめることについて指導すること。
- 文章の内容を理解したり自分の考えを形成したりする指導をすること。
文学的な文章を読んで考えたことなどを記録したり伝え合ったりする言語活動を通して指導すること。
- 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う指導をすること。
敬語に関する個々の体験的な知識を整理して体系付けるとともに、人間関係の形成や維持における敬語のもつ働きを理解するように指導すること。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・自然数を素数の積で表すことができるかどうかをみる。
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができるかどうかをみる。
- ・反例の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・一次関数の変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解しているかどうかをみる。
- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる。
- ・式を変形したり、意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる。
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる。
- ・データの傾向を的確に捉え、理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。
- ・箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる。
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しているかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較できてきている点

- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。
- ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること。
- 相対度数の必要性和意味を理解していること。
- 錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解していること。

◆課題のある点

- 関数の意味を理解していること。
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
- 平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの原因を説明すること。
- ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 関数の意味を理解するために、二つの数量について、変化や対応の様子に着目してその関係を的確に捉えること。
具体的な事象の中から伴って変わる二つの数量を取り出し、それらの関係を見いだす活動を重視すること。また、独立変数と従属変数との違いを考察する場面を設定すること。
- 判断の理由を説明するために、データの傾向を的確に捉える活動を充実させること。
日常生活や社会における問題を取り上げ、その問題の解決のために収集したデータの傾向を的確に捉える活動を充実させること。
- ある条件の下で成り立つ事柄を見だし、それを数学的に表現する活動を充実させること。
ある条件の下で図形を動かしたとき、常に成り立つ事柄を見だし、それを数学的に表現する活動を充実させること。

中学校 理科

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる。
- ・静電気や気圧、岩石、状態変化に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる。
- ・天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる。
- ・化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・水素を燃料として使うしくみとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・複数の脊椎動物のあしの骨格について比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる。
- ・課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる。
- ・大地の変動について他者の考察を、検討して改善できるかどうかをみる。
- ・時間的・空間的な見方を働かせながら、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる。
- ・実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる。
- ・未知の節足動物とアリを比較して、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 静電気に関する知識及び技能を活用することができる。
- 過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、検討して改善することができる。
- 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用することができる。
- 実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善することができる。

◆課題のある点

- 水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択すること。
- おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明すること。
- 考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整するか説明すること。
- 生物Xが昆虫かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断すること。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みについて、化学変化に係る水の質量が変化しないことを分析して解釈できるようにする。
- 物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるように指導する。
- 考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるようにする。
- 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるようにする。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 国語、数学、理科の勉強が好きですという回答が多いところ。
- 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしているという回答が多いところ。
- 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えるという回答が多いところ。

◆本校の課題と思われるところ

- 家で自分で計画を立てて勉強をしているという回答が少ないところ。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますかという問いに対して勉強しないという回答が多いところ。
- 国語、数学、理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますかという問いに対して、役に立つという回答が少ないところ。

生活について

◆本校のよかったところ

- 学校に行くのは楽しいと思っているという回答が多いこと。
- 人の役に立つ人間になりたいと思っているという回答が多いこと。
- 人が困っているときは、進んで助けていますという回答が多いこと。

◆本校の課題と思われるところ

- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますかという問いに対して、ありますという回答が少ないこと。
- 新聞を読んでいますという回答が少ないこと。
- 普段、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますかという質問で、使用頻度が少ないという回答が多いこと。

今後の具体的な取組について

- 誰もが分かりやすく、意欲的に取り組める授業を行います。
有馬中学校職員全員でユニバーサル・デザインを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的な深い学びができる授業法を研究し、実践します。また、家庭学習を計画的に進められるよう、自学の意欲向上に努めます。
- 体育祭・合唱祭で生徒自らが計画・運営をすることで、主体性や乗り越える力を育てます。
また、3学年が協力して活動することから、自分と違う意見も尊重しながら話し合いを深め、社会性を育成します。
- 総合的な学習の時間では、人間関係プログラムを実施することで、良好な人間関係の育成に努めます。また、広島修学旅行では平和やいのちの尊さについて学びます。
- 支援体制を組織的に行い、人間関係や個人の悩みに対して相談活動を充実させ、丁寧に対応します。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

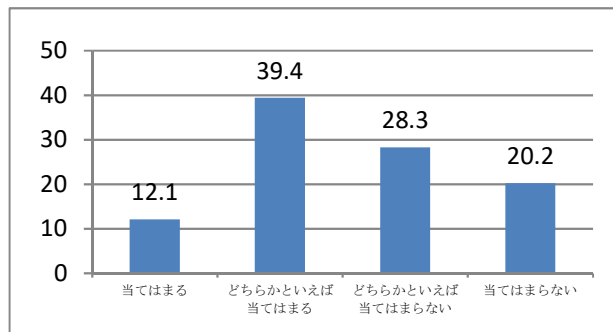
令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1

計画的な家庭学習を！

「早寝早起き」「朝ごはん」を踏まえた上で、十分な家庭学習の時間を確保できる生活リズムを確立させるようサポートをお願い致します。

学習の確実な定着には家庭学習が必要です。初めは少ない時間でも家庭学習をする姿を誉め、地道に努力する姿勢を育てましょう。



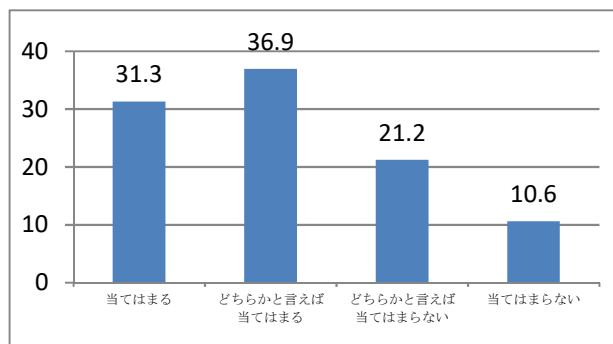
家で自分で計画を立てて勉強していますか

2

自尊感情を高める対話を！

時間らしく、生き生きと生活していくためには自尊感情は不可欠です。

仲間と比べたり、兄弟と比べたりして自分に自信を失いがちなこともあるこの時期です。是非、家庭の中でも本人の長所を認めたり、自信が高まる対話・会話が持たれると良いと思います。どんなに小さなことでも結構です。「今更」「照れくさい」「わざとらしい」とおっしゃらずに、是非実践してください。



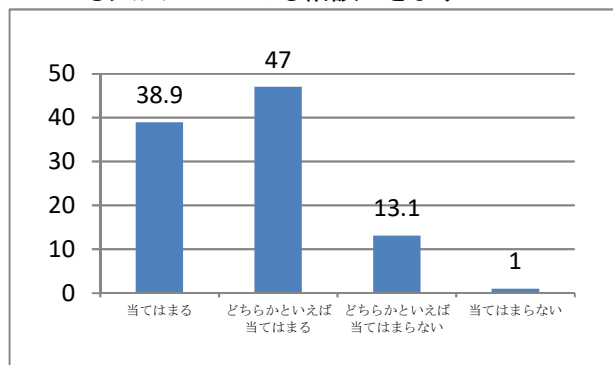
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

3

意図的な仕事・役割の分担を！

学校行事を終えると目に見えて、生徒は成長しています。それぞれが責任を持って自分の分担を果たして大きな目標を達成した後は、他の役割を担った仲間への感謝の気持ちが溢れます。それと同時に、取り組み期間中の苦しい時に助けてもらい、協力してもらったことへの感謝の気持ちを自分の口からも、文章でも表しています。

ご家庭においても、是非責任を持って取り組まなければならない役割分担をしていただき、助け合い・思いやり・気遣いの大切さを実感させていただきたいと思います。



自分でやると決めたことは、やり遂げる

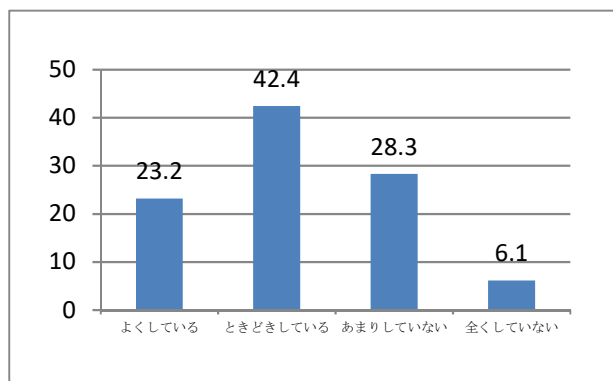
4

チャレンジの後押しを！

「失敗すると叱られる」「失敗すると格好悪い」といった不安があるのかもしれませんが。

「失敗は成功の母」とも言われます。仮に失敗しても、特に若いうちは何度でもやり直しがききます。又、失敗の原因を分析し、課題を突き止め、地道に取り組む、再チャレンジすることで道が開けていくことは多々あります。

「迷った時には取って代わって厳しい挑戦をすることを選ぶ」ことを信条にさせるくらい、背中を押してあげてください。



難しいことでも、挑戦していますか

結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係